

Day	Time	Japan Medical Radiation Therapy Society	Japan Radiation Therapy Technology Society	Japan Medical Physics Society	Japan Medical Imaging Therapy System Industry Association		
July 7 (Fri)	9:00	Joint Opening Ceremony					
	10:00						
	19:00	Joint Member Appreciation Meeting					
	18:00						
July 8 (Sat)	8:00				10:00		
	19:00					17:00	
July 9 (Sun)	8:00				10:00		
	16:00					Award Ceremony & Closing Ceremony	14:00

学術大会(当日)	会 員	¥12,000 (不課税)
	非会員	¥19,000 (税込)
機器展示会		¥3,000 (税込)
合同会員懇親会	無 料	

日本医学放射線学会／学術集会	} _____	会議センター	
日本放射線技術学会／学術大会			
日本医学物理学会／学術大会			アネックスホール
日本画像医療システム工業会／機器展示会			展示ホール
CyberRad		アネックスホール	

The map illustrates the location of Pacifico Yokohama (パシフィコ横浜) in relation to several bus stations and walking routes. The central location is marked with a large green circle labeled 'パシフィコ横浜'. Surrounding it are five bus stations, each in a green rounded rectangle: 'みなとみらい駅' (Minato Mirai Station) to the north, '横浜駅' (Yokohama Station) to the west, '新横浜駅' (Shin-Yokohama Station) to the southwest, '桜木町' (Sakuragi Town) to the south, and '渋谷駅' (Shibuya Station) to the northwest. Dashed lines represent walking routes from these stations to Pacifico Yokohama, with green circles indicating the walking time. Specific bus routes are also shown with green lines and text boxes.

みなとみらい駅

- 東急東横線 (みなとみらい線 乗り入れ) → 約30分 (特急)
- ウィーンズスクエア 横浜連絡口 経由 → 徒歩 約3分

横浜駅

- みなとみらい線 → 徒歩 約3分
- タクシー → 約7分 (東口ボルタ地下2階 タクシーのりば)

新横浜駅

- JR横濱線 → 徒歩 約15分
- 横浜市営地下鉄 → 徒歩 約15分

桜木町

- 徒歩 → 約12分
- バス → 約7分 (市営バス 1のりば)
- タクシー → 約5分

渋谷駅

パシフィコ横浜

第65回
日本医学放射線学会
学術集会

第62回
日本放射線技術学会
学術大会

**2006
国際医用画像
総合展**

第91回
日本医学物理学会
学術大会

JRC2006

URL: <http://www.j-rc.org>

ごあいさつ

放射線診断、IVR治療、核医学、放射線治療これら放射線医療は、いずれもその進歩が目覚ましく、現代医療には欠かせないものとなりました。一方、我々を取りまく社会環境、医療制度はめまぐるしく変わりつつあります。そこで今回の学術集会のメインテーマを「明日をひらく放射線医療－Radiology Tomorrow－」とさせていただきます。

前回の学術集会からポスター展示はすべてPCを使った電子ポスター（Cyposサイボス）になりましたが、今回はすべての学術発表の演題を電子ポスターで発表していただき、口演希望者は口演でも発表できるようにします。「フィルムイメージインタープリテーション」での新しい試み、明日の放射線医療を担う若い会員、研修医向けの企画を予定しています。

まもなく皆様と横浜でお会いできるのを楽しみにしています。



第65回日本医学放射線学会学術集会
会長 遠藤 啓吾

遠藤 啓吾



第62回日本放射線技術学会総会学術大会は、2006年4月7日（金）～9日（日）の3日間の日程で、パシフィコ横浜会議センターをメイン会場として開催されます。

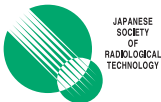
放射線医療技術の進歩はめざましく、JRCのメインテーマは「明日をひらく放射線医療－Radiology Tomorrow－」とし、これを受けて本学会のテーマは、「放射線医療技術と工学の融合」とさせていただきます。診療放射線技師は患者に安心できる高度な放射線診療を提供しなければなりません。診療に使用される医療機器等は、工学系技術者によって開発・製造され、適正な評価が行われます。一方、開発された医療機器等は、診療現場において診療放射線技師等の医療技術者による再試験・再評価が行われ、チーム医療によって病む人に適正な放射線診療が実施されます。それぞれの役割と責任分担は異なりますが、ユーザの医療技術とメーカーの工学が密接に融合してこそ、病む人のためにさらなる放射線医療技術の貢献が期待できるものと確信しています。

本大会は、皆様の素晴らしい研究発表を期待するとともに、特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション、モーニングセミナー、ランチョンセミナー、Cyposなど多くの企画を行っています。大会を成功させるべく、皆様のご支援と多数の参加をお待ちしております。



第62回日本放射線技術学会学術大会
大会長 熊谷 孝三

熊谷 孝三



今回で19回目を迎える国際医用画像総合展は、医学関連の展示会としては、名実ともにアジアで最大規模の総合展示会として発展してまいりました。

3年連続で横浜の地で開催された昨年は、出展社数、総面積とも過去最大規模となりました。会場が広がったことや出展社数が増えたことだけではなく、一般の方々の医療・健康に対する関心の昂まり、医師・技師の方々の熱意、それに応える業界各社の努力、これらが相俟って過去最大規模での開催になったものと考えられます。

益々グローバル化していく医療機器の国際統合化への動きに合わせるべく改正薬事法が施行され、基盤となる医療提供体制の改革、診療報酬改訂、更には医療機器の安全性に関する意識向上など、医療を取り巻く環境は日々、大きく変わろうとしています。

私ども（社）日本画像医療システム工業会（JIRA）は、2006国際医用画像総合展（ITEM2006）が、これらの環境変化によって多様化してきているニーズに、産官学が三位一体となって互いに刺激しあい発展する総合展示会となるよう、最大努力をしていきたいと考えています。



（社）日本画像医療システム工業会
会長 桂田 昌生

桂田 昌生



この度第91回日本医学物理学学会学術大会をJRCの傘下で開催させていただくにあたり関係諸団体のご理解とご協力に感謝いたします。

現在、医療とりわけ放射線診療の分野で質的向上および質的管理が求められています。こうした社会的ニーズに応えるためには、関係各団体の各分野内での研讃はもとより、それに加えて患者さんの視点に立った学際的な取り組みが必要になります。

医学物理学学会も長年の踊場的状況を脱して、新たな成長期に入ろうとしています。この成長に必要不可欠なものが、社会的なニーズに如何に応えられるかということになります。

与えていただいたこの機会を最大限に生かし、本大会が関係諸団体と協調を図る場となり、また研讃の成果を社会へ発信する場となり、また医学物理学とそれに関連する医療の新たな発展の契機となることを期待しております。



第91回日本医学物理学学会学術大会
大会長 西村 克之

西村 克之